

首都移転に **NO!**

～いま止めなければ、日本が危ない～

首都移転に断固反対する会

Vol. 11

平成14年12月発行

どうなる？首都移転問題！

首都の再整備は進む



すっかり日本の「顔」となった**首相官邸**
(総工費 **6 4 7** 億円)

残すところ、今年もあと1ヶ月、いかがお過ごしでしょうか。

今年は首都移転問題が重大局面をおかえるはずでした。

しかし、ご承知のとおり、何も起きていません。そもそもこの問題はすでに過ぎ去ったものと思ってる方々がほとんどではないでしょうか。

というのも、今年の春、防弾ガラスで覆った最新セキュリティシステムを完備した『新首相官邸』が完成したからです。

新官邸が稼働してから、早半年。小泉総理の「国民にも慣れ親しんでいただけるものとして発展してもらいたい」との願いどおり、だんだん「日本の顔」として定着してきたようです。

また旧官邸は、首相の住まいである公邸として平成16年4月に生まれ変わるため、工事が急ピッチで進んでいます。

霞ヶ関の中央官庁施設等も防災に備え、再整備が進んできました。

本当に首都移転をするつもりはあるのでしょうか？

(3面へ続く)



旧官邸は現在補強工事中

衆議院「国会等の移転に関する特別委員会」 を中心とした最近の動き

◎審議再開、臨時国会はじまる

○結局、委員会構成は候補地選出ばかり

10月18日、「国会等の移転に関する特別委員会」設置。ただし、その構成メンバーは相変わらず候補地選出の国会議員ばかり。たしか「申合せ」では、委員構成は、「三候補地出身議員が半数程度、その他地域出身議員も半数程度」にするはずだったのでは…。

(下記「申合せ」参照)

衆議院 国会等の移転に関する特別委員会のメンバー

役 職	氏 名	会 派	選挙区	役 職	氏 名	会 派	選挙区
委員長	中 井 治	自 由	(三 重)	委 員	荒 井 広 幸	自 民	(福 島)
理 事	田 野 瀬 良太郎	自 民	奈 良		石 田 真 敏	自 民	和歌山
	棚 橋 泰 文	自 民	岐 阜		佐 藤 勉	自 民	栃 木
	蓮 実 進	自 民	(栃 木)		笹 川 堯	自 民	群 馬
	吉 田 幸 弘	自 民	(愛 知)		松 本 和 那	自 民	千 葉
	大 谷 信 盛	民 主	大 阪		宮 本 一 三	自 民	兵 庫
	玄 葉 光一郎	民 主	福 島		八 代 英 太	自 民	東 京
	河 合 正 智	公 明	(岐 阜)		吉 野 正 芳	自 民	福 島
	塩 田 晋	自 由	(兵 庫)		渡 辺 喜 美	自 民	栃 木
() は比例区選出議員の住所地を表す 移転先候補地選出 (太字表示) は、25名中18名 ただし、候補地選出の大島委員 (社民・愛知) は、移転反対を表明しています。					河 村 たかし	民 主	愛 知
					小 林 守	民 主	(栃 木)
					中 川 正 春	民 主	三 重
					牧 義 夫	民 主	愛 知
					石 井 啓 一	公 明	(茨 城)
					矢 島 恒 夫	共 産	(埼 玉)
					大 島 令 子	社 民	(愛 知)

委員会のあり方等についての要請に関する申合せ

平成14年 7 月25日

1. 現下の厳しい社会経済状況を踏まえ、移転規模、形態や新たな移転手法 (P F I 、証券化等) などのコンセプトの見直しについての検討を衆議院移転特において早急に行う。
2. 上記の検討結果を踏まえ、平成15年の通常国会の本会議において、移転を行うか否かにつき決議する。
3. 上記の検討を円滑に進めるため、移転特の委員構成はなるべく多人数とし、三候補地出身議員が半数程度、その他地域出身議員も半数程度という構成とする。

以上、3 項目につき、各党において、その趣旨を御理解頂き、次期国会前に政党間協議の中で合意して頂き、然るべく取り図られることを強く要請する。

衆議院国会等の移転に関する特別委員会委員長・理事一同

※上記「申合せ」を特別委員会 (平成14年7月30日開催) にて委員長から報告。

◎今までやってきたことは、何だったのか？ ～国会等移転審議会答申は何処へ～

○数字はたしかに減りましたが… ～衆議院調査局～

臨時国会召集に先立ち、10月16日衆議院調査局は、移転の規模や形態等の見直しに関する予備的調査報告書を河村前委員長に提出。現下の厳しい社会経済状況を踏まえて検討した結果、移転費用は、なんと4.7兆円。ただし試算根拠は不明、あくまで規模縮小のための試算らしい。

○分都的?!分散型?!

10月31日、特別委員会開催。衆議院調査局の予備的調査報告書について議論開始。「分散型」、「分散移転」、「分都的形態」等々、早くも報告書の内容をめくり意見・質問が飛び交う。移転は、一括移転が前提であったはずだが…。どちらにしても、首都移転には断固反対！

○国土交通省は2案、提案

11月14日、特別委員会開催。国土交通省も試算を発表。単価変更や行革による組織・定数の見直しを前提に試算した結果は、移転費用11.7兆円。またこれを基に、各省庁アンケート調査を反映し、更に衆議院調査局報告書と同様の考え方を導入して試算した結果は、6.5兆円。これは、国会等移転審議会の試算に比べ、驚くことに半分程度。いったい、移転費用はいくらかかるのでしょうか。

移転さえできれば、規模はどうでも良いのでしょうか？

本当に首都移転するとなると、
約**20兆円**かかります！

**金額で誤魔化されてはなりません！
いくらかかってでも首都移転は最大の無駄遣いにかわりありません！**

(1面からの続き)



**首都の再整備はすすむ
国会周辺は建設ラッシュ！**



議員会館
(建て替え予定)



外務省
(耐震工事中)



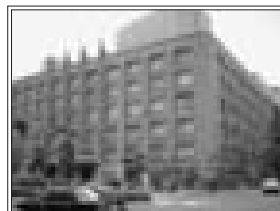
合同庁舎2号館
〈総務省・警察庁・国土交通省〉
(高層棟は、平成13年完成、低層棟は、工事中)



合同庁舎3号館
〈国土交通省〉
(耐震工事中)



合同庁舎6号館
〈法務省〉
(平成2年完成)



合同庁舎7号館
〈文部科学省・会計検査院〉
(PFIによる建て替え予定)

首都移転したら、これらの建物はいったいどうなるのでしょうか？

首都移転問題関連日誌（7月～11月）

7 月

- 19日 自民党、民主党の国会对策委員長会談
衆議院議長直属の協議機関を設置する方針、見送りへ
- 25日 衆議院特別委員会理事会
三項目の「申合せ」を決定（内容は2ページ参照）
- 29日 与党三党首会談
首都機能移転問題についての合意
「社会、経済、国民意識等諸事情の変化を重く受け止め、次期通常国会において結論を得るよう努力する」
- 30日 衆議院特別委員会
25日の理事会「申合せ」について、河村委員長から報告があり、了承
衆議院調査局に対し予備的調査命令
- 31日 参議院特別委員会
「国会等の移転について、早急に結論を得るべく、各会派での意見集約に努めることとする」

10 月

- 8日 首都機能移転先候補地関係知事懇談会を開催
（福島・栃木・愛知・岐阜・三重・滋賀・奈良・京都）
- 16日 衆議院調査局「予備的調査報告書」を河村委員長に提出
- 18日 衆議院「国会等の移転に関する特別委員会」を設置 委員長に中井洽氏を選任
参議院「国会等の移転に関する特別委員会」を設置 委員長に島袋宗康氏を選任
- 31日 衆議院特別委員会 衆議院調査局から「予備的調査報告書」について説明

11 月

- 14日 衆議院特別委員会 安倍官房副長官、中馬国土交通副大臣への質疑
- 20日 衆議院特別委員会 参考人（堺屋太一氏他3名）より意見聴取
参議院特別委員会 参考人（吉村英祐氏他2名）より意見聴取
- 27日 衆議院特別委員会 参考人（福井秀夫氏他3名）より意見聴取

編集・発行 **首都移転に断固反対する会**
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 東京都知事本部内
TEL 03-5388-2172
FAX 03-5388-1212
Eメール: chijihonbu_syuto@section.metro.tokyo.jp
首都移転問題のホームページ
<http://www.chijihonbu.metro.tokyo.jp/chosa/syuto/>